

42

全国の華岡流全身麻酔下乳癌手術件数

土手健太郎, 藤谷 太郎, 矢野 雅起, 高石 和

愛媛県立中央病院 麻酔科・集中治療部

【はじめに】 1804年、華岡青洲は麻沸散を用い、世界で最初に全身麻酔下で乳癌の手術を行ったが、この全身麻酔・外科手術手技の難度が高かったため、ごく一部の門人を除いて伝承できず、全国的には広まらなかったとされている。一方、近年になり地方の郷土史や医師会史などの情報から、少しずつ地方での華岡流の発展の状況が分かるようになってきた。しかし、これらを統合した全日本的な研究は少ない。そこで我々は、日本全国において華岡流の全身麻酔下の乳がん手術が何処で何件行われたかを、入手可能な文献・論文・著書・インターネット情報を用いて検索・検討したので報告する。

【方法】 全国の入手可能な文献・論文・著書・インターネット情報を用いて、手術日、患者氏名、術者氏名、手術内容などが記載された華岡流の全身麻酔下乳がん手術例を蒐集し、検索・検討した。

【結果】 患者は、当時の手術記録や手術時の書き込みなど手術の実施の確固たる証拠が存在する患者のみを確認された対象として計算した。その結果、熊本から茨城まで合計 259 名 279 件であった。最も多かったのは、和歌山の華岡青洲鷺洲厚堂 167 名 177 件で、続いて岐阜の不破廉斎杏斎 63 名 72 件、岡山の難波抱節経直 12 名 12 件、兵庫の杉立以成 2 名 3 件、愛媛の鎌田玄台 2 名 2 件、島根の大森泰輔加善 2 名 2 件、大阪の華岡鹿城南洋 1 名 1 件、熊本の飯田春達 1 名 1 件、熊本の渡辺宗悦 1 名 1 件、大分の小田順亭 1 名 1 件、広島の小川清介 1 名 1 件、岡山の久原洪哉 1 名 1 件、京都の高階兵馬 1 名 1 件、福井の橋本佐内 1 名 1 件、東京の杉田立卿 1 名 1 件、栃木の中川愿誌 1 名 1 件、茨城の本間玄調 1 名 1 件であった。

【考察】 華岡流乳癌手術は熊本から茨城まで合計 259 名 279 件であった。和歌山華岡家と岐阜不破家では、ほとんどの手術の記録であると考えられる。岡山難波家では、1815～19 年間の手術の多くは記載されたが、その他の時期にも手術は行われたと思われるが記載は残っていない。大阪華岡家、愛媛鎌田家、茨城本間家では、1～2 例の症例報告が残っているが、これは、数十例以上の乳癌手術を行ったうえで代表的のものを記載したとされている。外科の大家としての顕彰碑は残っているものの手術の具体例が残っていない華岡流門人も存在した。以上より、手術の確固たる証拠が存在する手術数は 279 件であるが、本当の手術数は大幅に増える可能性がある。

【結論】 150～200 年後の現在においても手術の実施の確固たる証拠が存在する華岡流全身麻酔下の乳癌手術は 177 件であった。九州から関東までの 17 ヶ所で実施され、和歌山の華岡青洲、岐阜の不破廉斎、岡山の難波抱節の手術例が多かった。確固たる証拠はないものの、多くの乳癌手術を行っていたと考えられる華岡流門人も存在しており、本当の手術数は大幅に増えると考えられる。